

コンクリート主任技士試験完全攻略問題集 2023 年版 訂正箇所

2023 年 7 月 10 日

読者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、下記のとおり修正してお読み下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

22 ページ 問題 8 圧縮強度の割増し係数 赤字部を追加

$$a_1 = 0.85 / (1 - 3V/100)、a_2 = 1 / \{1 - 3V / (100 \sqrt{3})\}$$

23 ページ 問題 8 解説 赤字部を訂正

圧縮強度の割増し係数を解く

$$a_1 = 0.85 / (1 - 3 \times 9/100) = 1.164$$

$$a_2 = 1 / \{1 - 3 \times 9 / (100 \sqrt{3})\} = 1.185$$

割増し係数が大きい a_2 の値を用いて割増し強度を計算する。

$$27 \times 1.185 = 32.0 \text{ (N/mm}^2\text{)}$$

割増しした強度から水セメント比を計算する。

$$F = -14.5 + 25.0C/W \text{ より } C/W = 1.86$$

$$\text{単位セメント量 } C = 175 \times 1.86 \text{ (kg/m}^3\text{)}$$

$$\text{水セメント比} = 175 / (175 \times 1.86) = 53.8 \text{ (\%)}$$

単位粗骨材かさ容積と実積率から粗骨材容積を求める。

$$600 \times 0.6 = 360 \text{ (L/m}^3\text{)}$$

細骨材率を求める。

$$\text{細骨材容積} = 1000 - \{175 + (326/3.16) + 45 + 360\} = 317 \text{ (L/m}^3\text{)}$$

$$\text{細骨材率} = 317 / (317+360) = 46.8 \text{ (\%)}$$

訂正事項および補記は、弊社ホームページ (www.beton.co.jp) にてお知らせしておりますので、ご参照ください。